

## 5. 岡山大学環境理工学部規程

〔平成16年4月1日〕  
岡大環規程第1号

改正 平成17年3月15日規程第1号  
平成18年1月26日規程第1号  
平成19年2月1日規程第1号  
平成20年3月6日規程第1号  
平成21年1月8日規程第1号  
平成22年3月10日規程第1号  
平成23年2月3日規程第1号  
平成24年2月2日規程第1号  
平成25年2月6日規程第1号  
平成26年2月5日規程第1号  
平成27年2月4日規程第1号  
平成28年3月9日規程第1号  
平成29年3月8日規程第1号  
平成30年3月7日規程第1号

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人岡山大学管理学則（平成16年岡大学則第1号。）及び岡山大学学則（平成16年岡大学則第2号。以下「学則」という。）の規定に基づき、岡山大学環境理工学部（以下「本学部」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(本学部の目的)

第2条 本学部は、広く環境理工学に関する知識を授け、深く専門の学芸を教授研究して、知的、道徳的、創造的及び応用的能力を有する人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第3条 本学部は、本学部に係る点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2 前項の自己評価については、岡山大学（以下「本学」という。）の教職員以外の者による検証を受けるよう努めるものとする。

3 自己評価等に関し、必要な事項は、別に定める。

(教育研究等の状況の公表)

第4条 本学部は、教育研究及び組織運営の状況等について、定期的に公表する。

(組織的研修等)

第5条 本学部は、教員の教育内容及び教育方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を実施する。

(学科)

第6条 本学部に次の学科を置く。

環境数理学科

環境デザイン工学科

環境管理工学科

環境物質工学科

(副学部長)

第7条 本学部に副学部長を置く。

2 副学部長に関し、必要な事項は、別に定める。

(学科長)

第8条 本学部各学科に学科長を置く。

2 学科長に関し、必要な事項は、別に定める。

(授業科目及び単位数)

第9条 授業科目は、教養教育科目及び専門教育科目に区分する。

2 個々の授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、各学科の授業科目及びその単位数は、別表第1のとおりとする。ただし、別表第1に定めるもののほか、必要があるときは、特別に授業科目を開講するものとする。

(授業の方法)

第10条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(単位の計算方法)

第11条 授業科目の単位の計算方法については、次の基準によるものとする。

一 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

二 演習については、15時間又は30時間の授業をもって1単位とする。

三 実験及び実習については、30時間又は45時間の授業をもって1単位とする。

四 一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前三号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって1単位とする。

五 卒業論文については、それに必要な学修等を考慮して10単位とする。

(授業科目の公示)

第12条 授業科目、授業担当教員及び授業時間表は、学年の始めに公示する。

(成績評価基準)

第13条 本学部は、各授業における学習目標や目標達成のための授業の方法及び計画を明示するとともに、学生の授業への取組状況等を考慮した多面的な成績評価基準を定めて公表する。

(履修手続)

第14条 学生は、履修しようとする授業科目を、所定の手続により、学部長に届け出なければならない。

2 前項の期限内に手続が完了できない特別の理由が生じた場合は、所属学科の承認を得て届け出ることができる。

3 他学部の授業科目を履修しようとするときは、学部長を経て当該学部長の許可を受けなければならない。

4 他学部学生が本学部の授業科目の履修を希望するときは、所属学部長を経て願い出なければならない。(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第15条 学生が他の大学(外国の大学を含む。)又は短期大学(外国の短期大学を含む。)の授業科目を履修しようとするときは、所属学科の承認を得て、所定の様式により学部長に願い出るものとし、当該大学又は当該短期大学との協議の成立が得られたものについて、許可するものとする。

2 前項により履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で、教授会の議を経て学部長が本学部における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定できるものとする。

3 前2項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第16条 学生が短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修を希望するときは、所属学科の承認を得て、所定の様式により学部長に願い出て許可を受けなければならない。

2 前項による学修その他文部科学大臣が定める学修については、教授会の議を経て学部長が本学部における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定できるものとする。

3 前項の規定により認定することができる単位数は、前条の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(単位の認定)

第17条 授業科目を履修した者に対しては、第13条に規定する成績評価基準に照らし、授業担当教員が単位を認定するものとする。

2 前項の認定は、「A+」、「A」、「B」、「C」及び「F」の評語をもって表し、「A+」、「A」、「B」及び「C」を合格、「F」を不合格とする。ただし、必要と認める場合は、「A+」、「A」、「B」及び「C」の評語に代えて、「修了」又は「認定」とすることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第18条 学生が本学部に入學する前に、大学若しくは外国の大学(外国の大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修した場合及び外国の大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修した場合を含む。)又は短期大学若しくは外国の短期大学(外国の短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修した場合及び外国の短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修した場合を含む。)での履修又は短期大学若しくは高等専門学校の特攻科での学修により修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、教授会の議を経て学部長が本学部に入學した後の授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定できるものとする。

2 前項の規定により、修得したものと認定できる単位数は、転学、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第15条及び第16条の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(卒業論文)

第19条 卒業論文の履修要件は、別に定める。

(卒業の要件)

第20条 卒業の要件は、4年以上在學し、別表第2に定める単位数以上を修得することとする。

(転学科、転学部、編入学及び學士入學)

第21条 本学部内の転学科、他学部又は他大学からの転学部、編入学及び學士入學を志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て、許可することがある。

2 他大学へ転学を志願する者は、受験許可発行願を提出の上、手続を行うものとする。

(再入學)

第22条 願いにより退學した者で再入學を志願する者があるときは、選考の上、教授会の議を経て、許可することがある。

2 前項により再入學を志願する者は、その理由を記載した願書を学部長に提出しなければならない。

(在學期間の通算等)

第23条 第21条第1項及び前条第1項の規定により転学科、転学部、編入学、學士入學及び再入學を許可された者の在學期間の通算及び既修得単位の認定は、教授会の議を経て、学部長が行う。

2 學則第30条第2項及び第3項の規定による科目等履修生としての学修期間の修業年限への通算につ

いては、別に定める。

(教育職員免許状)

第24条 本学部において取得することができる教育職員免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学 科	教育職員免許状の種類	免許教科
環 境 数 理 学 科	高等学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状	数 学 数 学
環 境 デ ザ イ ン 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	理 科 ・ 工 業
環 境 管 理 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	理 科
環 境 物 質 工 学 科	高等学校教諭一種免許状	理 科

2 前項の教育職員免許状を取得しようとする者は、別に定めるところにより、所定の単位を修得しなければならない。

(科目等履修生)

第25条 本学の学生以外の者で、本学部の授業科目について履修を志願する者があるときは、教授会の議を経て、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生の取扱いについては、別に定める。

(特別聴講学生)

第26条 他の大学（外国の大学を含む。）又は短期大学（外国の短期大学を含む。）の学生で、本学部の授業科目について聴講を志願する者があるときは、当該大学又は当該短期大学との協議に基づき、教授会の議を経て、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生の取扱いについては、別に定める。

(委託生)

第27条 公の機関又はその他の機関からその所属職員につき、聴講科目若しくは研究事項を定め、又は研修について委託の願い出があるときは、教授会の議を経て、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生の取扱いについては、別に定める。

(研究生)

第28条 本学部において、特定事項の研究を志願する者があるときは、教授会の議を経て、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生の取扱いについては、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年度以前の入学者については、岡山大学環境理工学部規程等を廃止する規程

（平成16年岡大環規程第1号）により廃止された岡山大学環境理工学部規程（平成15年岡山大学環境理工学部規程第1号）の例による。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。ただし、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。ただし、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。ただし、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。ただし、平成19年度以前の入学者については、なお

従前の例による。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。ただし、平成21年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。ただし、平成22年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成23年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成25年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成26年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成27年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成28年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成29年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、改正後の別表第1において定めるグローバルディスカバリー科目については、平成29年度以前の入学者についても適用する。

別表第1  
 教養教育科目  
 ○各学科共通

科目区分		授業科目及び単位数	履修要件
導入教育	ガイダンス		履修に係る要件は各学科の定めるところによる。
	補習教育		
知的理解	現代と社会		
	現代と生命		
	現代と自然		
実践知・感性	実践知		
	芸術知		
汎用的技能と健康	情報教育		
	キャリア教育		
	健康・スポーツ科学		
	アカデミック・ライティング		
言語	英語		
	初修外国語	A群	
			フランス語
			中国語
			韓国語
	B群		ロシア語
			スペイン語
			イタリア語
	日本語		
	高年次教養科目		開講授業科目及びその単位数については、岡山大学全学教育・学生支援機構基幹教育センター長が学年の始めに公示する。

専門教育科目  
 ○環境数理学科

科目区分	授業科目	単位数	
専門基礎科目	学部共通科目	〔必修科目〕 環境理工学入門	1.5
		〔選択科目〕 技術者倫理	1.5
		キャリア形成論	1.5
		基礎英語実践演習	0.5
	基礎科学系科目	〔必修科目〕 線形代数Ⅰ	1.5
		統計学Ⅰ	1.5
		応用解析学A	1.5
		〔選択科目〕 統計学Ⅱ	1.5
		基礎物理数学	1.5
環境科学系科目	現代の化学	1.5	
	応用解析学B	1.5	
	〔選択科目〕 環境と生物	1.5	
	気象と水象	1.5	
	環境と地理	1.5	
	地球と環境	1.5	
エネルギーとエントロピー	1.5		
環境と物質	1.5		

科目区分		授業科目	単位数
専門基礎科目	環境科学系 科目	基礎地球科学	1.5
		実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	1.5
		実践型水辺環境学及び演習Ⅱ	1.5
		E S D実践演習	1.5
		実践型環境学：国際双方向型プログラム（岡山大学コース）	3
		実践型環境学：国際双方向型プログラム（海外コース）	3
専門科目		〔必修科目〕	
		微分積分Ⅰ－1	1
		微分積分Ⅰ－1 演習	1
		微分積分Ⅰ－2	1
		微分積分Ⅰ－2 演習	1
		微分積分Ⅱ－1	1
		微分積分Ⅱ－1 演習	1
		微分積分Ⅱ－2	1
		微分積分Ⅱ－2 演習	1
		線形代数Ⅱ－1	1
		線形代数Ⅱ－1 演習	1
		線形代数Ⅱ－2	1
		線形代数Ⅱ－2 演習	1
		計算機リテラシ入門1	1
		計算機リテラシ入門2	1
		離散数学入門1	1
		離散数学入門2	1
		ベクトル解析1	1
		ベクトル解析2	1
		情報統計学1	1
		情報統計学2	1
		数理統計学Ⅰ－1	1
		数理統計学Ⅰ－2	1
		プログラミング言語A－1	1
		プログラミング言語A－2	1
		卒業論文	10
		〔選択科目〕 A群	
		線形代数Ⅲ－1	1
		線形代数Ⅲ－2	1
		代数学基礎1	1
		代数学基礎2	1
		代数学要論1	1
		代数学要論2	1
		幾何学基礎A	1
		幾何学基礎B	1
		幾何学要論A	1
		幾何学要論B	1
		フーリエ解析と偏微分方程式1	1
		フーリエ解析と偏微分方程式2	1
		確率論1	1
		確率論2	1
		力学系とモデリング1	1
		力学系とモデリング2	1

科目区分	授業科目	単位数
専門科目	〔選択科目〕 B群	
	計算解析 1	1
	計算解析 2	1
	プログラミング言語 B-1	1
	プログラミング言語 B-2	1
	数値シミュレーション I-1	1
	数値シミュレーション I-2	1
	数値シミュレーション II-1	1
	数値シミュレーション II-2	1
	〔選択科目〕 C群	
	計算統計学 A-1	1
	計算統計学 A-2	1
	計算統計学 B-1	1
	計算統計学 B-2	1
	数理統計学 II-1	1
	数理統計学 II-2	1
	計量アナリシス 1	1
	計量アナリシス 2	1
	〔選択科目〕 D群	
	環境アナリシス 1	1
	環境アナリシス 2	1
	環境情報モデル学 1	1
	環境情報モデル学 2	1
	環境数理生物学 1	1
	環境数理生物学 2	1
	偏微分方程式とその応用 1	1
	偏微分方程式とその応用 2	1
	環境統計科学 I-1	1
	環境統計科学 I-2	1
	環境統計科学 II-1	1
	環境統計科学 II-2	1
	〔選択科目〕 E群	
	応用数理特論 A	1
	応用数理特論 B	1
	応用数理モデル特論 A	1
	応用数理モデル特論 B	1
	環境統計モデル特論 A	1
	環境統計モデル特論 B	1
	〔自由科目〕	
	環境数理学科インターンシップ	2
	力学の基礎 A	1
	力学の基礎 B	1
	土壌科学概論	2
植生管理学	2	
廃棄物マネジメント	1	
水質学 A	1	
水質学 B	1	
環境影響評価学	1	
景観論	1	
		1. 5



科目区分	授業科目	単位数
専門科目	環境解析学Ⅱ	1.5
	農村整備学	2
	森林環境論	1.5
	環境政策論	1.5
	労働環境工学	1.5

上記以外の授業科目で、学科が認める科目については、自由科目として取扱う。

○環境デザイン工学科

科目区分	授業科目	単位数
専門基礎科目	[必修科目] 環境理工学入門	1.5
	技術者倫理	1.5
	[選択科目] キャリア形成論	1.5
	基礎英語実践演習	0.5
	[選択科目] 基礎物理数学	1.5
	線形代数Ⅰ	1.5
	統計学Ⅰ	1.5
	現代の化学	1.5
	統計学Ⅱ	1.5
	応用解析学A	1.5
	応用解析学B	1.5
	[選択科目] 基礎地球科学	1.5
	地球と環境	1.5
	気象と水象	1.5
	エネルギーとエントロピー	1.5
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	1.5	
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ	1.5	
環境と物質	1.5	
E S D実践演習	1.5	
実践型環境学：国際双方向型プログラム（岡山大学コース）	3	
実践型環境学：国際双方向型プログラム（海外コース）	3	
専門科目	[必修科目] 力学の基礎A	1
	力学の基礎B	1
	環境物理化学A	1
	環境物理化学B	1
	環境解析学ⅠA	1
	環境解析学ⅠB	1
	情報処理及び演習A	1
	情報処理及び演習B	1
	情報処理及び演習C	1
	外国書講読	1
	構造力学Ⅰ及び演習A	1.5
	構造力学Ⅰ及び演習B	1.5
	構造力学Ⅱ	1
	構造材料学A	1

科 目 区 分	授 業 科 目	単位数
専 門 科 目	構造材料学B	1
	コンクリート構造設計学 I	2
	材料試験法及び実験	1
	水理学及び演習 A	1. 5
	水理学及び演習 B	1. 5
	水理設計学及び演習 A	1. 5
	水理設計学及び演習 B	1. 5
	水理計測法及び実験 A	0. 5
	水理計測法及び実験 B	0. 5
	土質力学 I 及び演習 A	1. 5
	土質力学 I 及び演習 B	1. 5
	土質力学 II 及び演習 A	1. 5
	土質力学 II 及び演習 B	1. 5
	土質試験法及び実験	1
	測量学	2
	測量学実習	1
	計画数理	1. 5
	都市・地域計画学 A	0. 5
	都市・地域計画学 B	1. 5
	交通計画学	1. 5
	環境衛生基礎 A	1
	環境衛生基礎 B	1
	水質学 A	1
	水質学 B	1
	環境衛生学実験	1
	卒業論文	1 0
	〔選択科目〕 I 群	
	環境解析学 II	1. 5
	振動学 I	1. 5
	振動学 II	1. 5
	鋼構造設計学	1. 5
	コンクリート構造設計学 II	1
	環境水理学	1. 5
	河川環境学	1. 5
	沿岸環境学	1. 5
	地下水工学	1. 5
	地盤防災工学	1. 5
	環境デザイン工学インターンシップ	1
	〔選択科目〕 II 群	
	道路政策論	1
	景観論	1. 5
	環境計画学	1. 5
	計画学演習	1
	都市解析学	1. 5
	環境影響評価学	1
廃棄物マネジメント	1	
大気環境学	1	
水道工学	1	
下水道工学	1	

科目区分	授業科目	単位数
	環境装置工学	1
	環境微生物学	1
	衛生薬学3（薬学部開講）	1
	衛生薬学4（薬学部開講）	1
	工業概論	2
	職業指導概説	2

上記以外の授業科目で、学科が認める科目については、選択科目として取扱う。

### ○環境管理工学科

科目区分	授業科目	単位数	
専門基礎科目	学部共通科目	〔必修科目〕 環境理工学入門	1.5
		技術者倫理	1.5
		〔選択科目〕 キャリア形成論	1.5
		基礎英語実践演習	0.5
	基礎科学系科目	〔必修科目〕 現代の化学	1.5
		〔選択科目〕 統計学Ⅰ	1.5
		統計学Ⅱ	1.5
		物質化学入門	1.5
		線形代数Ⅰ	1.5
		応用解析学A	1.5
		応用解析学B	1.5
	環境科学系科目	〔必修科目〕 環境と生物	1.5
		気象と水象	1.5
		環境と地理	1.5
		〔選択科目〕 地球と環境	1.5
エネルギーとエントロピー		1.5	
環境と物質		1.5	
基礎地球科学		1.5	
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ		1.5	
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ		1.5	
E S D実践演習		1.5	
実践型環境学：国際双方向型プログラム（岡山大学コース）	3		
実践型環境学：国際双方向型プログラム（海外コース）	3		
専門科目	〔必修科目〕 環境管理数学	2	
	物理入門	2	
	環境管理工学演習	2	
	分野演習	1	
	土壌科学概論	2	
	植生管理学	2	
	水生動物学	2	

科 目 区 分	授 業 科 目	単位数
	基礎地形情報学	2
	土壌物理学	2
	生産基盤管理学	2
	流体力学入門	2
	流域水文学	2
	水資源利用学	2
	水文環境管理学	2
	構造力学Ⅰ	2
	土質力学	2
	環境施設設計学	2
	資源管理学	2
	環境経済学	2
	環境地理学	2
	農村計画学	2
	農村整備学	2
	基礎地形情報学実習	1
	環境生物学実験	1
	土壌環境実験	1
	水利実験	1
	土質・コンクリート実験	1
	卒業論文	10
	〔選択科目〕	
	土壌圏管理学	1.5
	土壌の物質移動学	1.5
	水理学	1.5
	構造力学Ⅱ	1.5
	地域経済学	1.5
	環境気象学	1.5
	環境生物学	1.5
	地盤防災工学	1.5
	環境情報処理	1.5
	水域環境管理学	1.5
	コンクリート工学	1.5
	環境管理工学実習	2
	地形情報管理学	1.5
	森林環境論	1.5
	環境社会学	1.5
	公共財管理論	1.5
	地形情報管理学実習	2
	環境地理学演習	1.5

上記以外の授業科目で、学科が認める科目については、選択科目として取扱う。

○環境物質工学科

科 目 区 分	授 業 科 目	単位数
専門基礎科目	〔必修科目〕	
	環境理工学入門	1.5
学部共通科目	技術者倫理	1.5

科目区分		授業科目	単位数		
専門基礎科目	学部共通科目	[選択科目] キャリア形成論 基礎英語実践演習	1.5 0.5		
		基礎科学系 科目	[選択科目] 線形代数Ⅰ 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 基礎物理数学 物質化学入門 応用解析学A 応用解析学B	1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	
	環境科学系 科目		[選択科目] 環境と生物 気象と水象 地球と環境 エネルギーとエントロピー 環境と地理 環境と物質 基礎地球科学 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ E S D実践演習 実践型環境学：国際双方向型プログラム（岡山大学コース） 実践型環境学：国際双方向型プログラム（海外コース）	1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 3 3	
			専門科目	[必修科目] 基礎物理化学 電気化学Ⅰ 熱力学Ⅰ 気体分子運動論 熱力学Ⅱ 熱力学Ⅲ 混合と反応 反応速度論 相平衡論 電気化学Ⅱ 基礎無機化学 量子化学Ⅰ 量子化学Ⅱ 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 無機化学Ⅲ 基礎有機化学 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 高分子化学Ⅰ 高分子化学Ⅱ 基礎化学工学	1 1

科目区分	授業科目	単位数	
専 門 科 目	化学工学Ⅰ	1	
	化学工学Ⅱ	1	
	化学工学Ⅲ	1	
	反応工学Ⅰ	1	
	反応工学Ⅱ	1	
	物質数理科学	1	
	外国書講読A	1	
	外国書講読B	1	
	環境分析化学実験	2	
	化学実験安全学	0.5	
	環境化学実験および演習A	1.5	
	環境化学実験および演習B	1.5	
	環境化学実験および演習C	1.5	
	研究分野演習	2	
	卒業論文	10	
	[選択科目]		
	プログラミング基礎Ⅰ	1	
	プログラミング基礎Ⅱ	1	
	環境分析化学Ⅰ	1	
	環境分析化学Ⅱ	1	
	機器分析Ⅰ	1	
	機器分析Ⅱ	1	
	システム設計学Ⅰ	1	
	システム設計学Ⅱ	1	
	無機結晶化学	1	
	無機材料化学	1	
	無機構造化学	1	
	セラミックス物性化学	1	
	セラミックス材料科学	1	
	ガラス材料科学	1	
	有機化学Ⅳ	1	
	有機化学Ⅴ	1	
	環境有機化学Ⅰ	1	
	環境有機化学Ⅱ	1	
	高分子溶液論	1	
	高分子固体科学	1	
	分離工学Ⅰ	1	
	分離工学Ⅱ	1	
	環境触媒化学Ⅰ	1	
	環境触媒化学Ⅱ	1	
	化学プロセス工学Ⅰ	1	
	化学プロセス工学Ⅱ	1	
	環境政策論	1.5	
	労働環境工学	1.5	
	環境物質工学実習A	1	
	環境物質工学実習B	0.5	
	環境物質工学各論A	1	
環境物質工学各論B	1		
環境物質工学各論C	1		

上記以外の授業科目で、学科が認める科目については、選択科目として取扱う。

○グローバルディスカバリー科目（各学科共通・専門科目）

授 業 科 目		単位数
基本科目	初等数理科学 (Elementary Mathematical Science)	1
	初等統計科学 (Elementary Statistical Science)	1
	基礎物理化学 (Fundamentals of Physical Chemistry)	1
	環境化学概論 (Introduction to Environmental Chemistry)	1
	土木工学 I (Civil Engineering I)	1
	土木工学 II (Civil Engineering II)	1
課題科目	基礎数理講究 (Seminar on Foundation of Mathematical Science)	1
	応用数理講究 (Seminar on Applied Mathematical Science)	1
	計算科学講究 (Seminar on Computational Science)	1
	統計科学講究 (Seminar on Statistical Science)	1
	熱と物質の収支 (Heat and Mass Balances)	1
	環境プロセス工学 (Environmental Process Engineering)	1
	リサイクル工学 (Recycle Engineering)	1
	プロセスシステム工学 (Process Systems Engineering)	1
	再生可能エネルギーの有効利用のためのセラミックス科学 (Ceramics Science for Renewable Energy Utilization)	1
	資源循環再利用のためのガラス科学 (Glass Science for Resource Recycling)	1
	環境有機化学材料 (Functional Organic Materials Chemistry)	1
	生分解性高分子の構造と物性 (Structure and Properties of Biodegradable Polymer)	1
	水資源の確保と活用 (Conservation and Utilization of Water Resources)	2
	資源問題と循環プロセスの構築 (Environmental Issues and Recycling Processes of Resources)	2

別表第2

学科区分		教養教育科目	専門教育科目		合計単位
			専門基礎科目	専門科目	
環境数理学科	必修	1 6	6	3 4	1 2 4
	選択	1 4	7. 5	3 2	
	自由	—	—	1 4. 5	
環境デザイン工学科	必修	1 7	3	5 6	1 2 4. 5
	選択	1 4	9	2 5. 5	
	自由	—	—	—	
環境管理工学科	必修	1 6	9	5 8	1 2 4
	選択	1 4	6	2 1	
	自由	—	—	—	
環境物質工学科	必修	1 6	3	5 0	1 2 4
	選択	1 4	1 5	2 6	
	自由	—	—	—	

履修にあたっては、所属学科の指導を受けること。